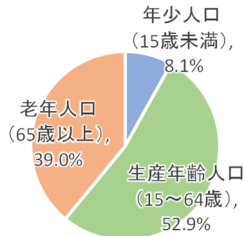


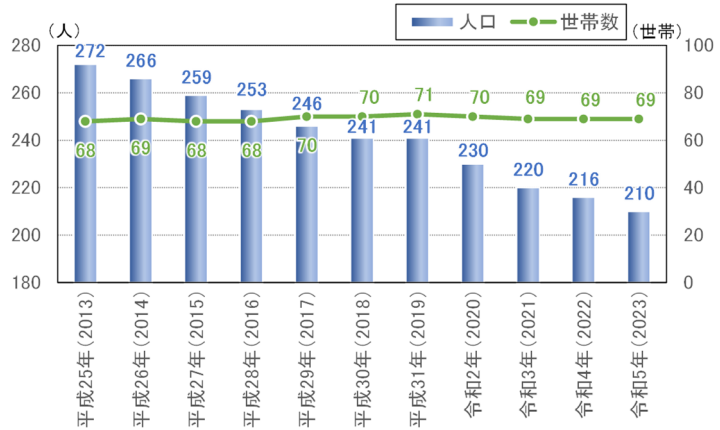
# 塩山 (しおやま)

人口・世帯数等 (令和5年4月)	
人口	210人
世帯数	69世帯
高齢化率	39.0%

### 年齢別人口割合



### 人口・世帯数の推移 (過去10年間)



### 区域の概要

**立地** 集落は、照来盆地の西端にあり、標高230mの高地に位置する。照来川が集落北側を流れ、水の便にはあまり恵まれていないため、ため池が作られ棚田・棚畑が多い。

**地名由来** 不明

**歴史等** 近世の塩山村は、天正11年(1583)因幡国鳥取城主宮部氏領、慶長6年(1601)同国若桜藩領、慶長10年(1605)旗本宮城氏知行、寛永20年(1643)幕府領、寛文8年(1668)からは豊岡藩領となった。天保5年(1834)の『但馬国郷帳』(天保郷帳)の村高は259石余。特産物は但馬牛。

明治22年(1889)照来村の大字となり、昭和29年(1954)からは温泉町の大字となる。明治24年(1891)の戸数61、人口は男140・女152。

照来川が塩山集落の谷の下を流れるため、水の便には恵まれておらず、昔から「塩山豊年米食わず」と言われ、塩山集落の豊年は、他集落は水があり過ぎて冷え込みがひどく不作であると言われる。塩山では水不足のため、ため池が集落の各所に造られ、新温泉町の中でも最も多く、灌漑用水も築かれた。屋敷地が段々畑の中に設けられ、急坂を縫うようにして家が連なるのも当集落の特徴である。

### これまで把握している文化財

文化財の件数 25件 (うち指定等文化財 2件)

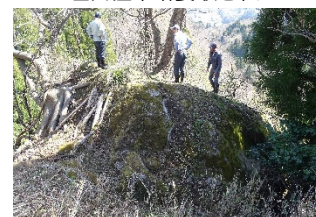
大分類	中分類	小分類	把握件数	指定等
有形文化財	建造物	建築物	0	8
		石造物	1	
		工作物・その他の構造物	0	
	美術工芸品	彫刻	6	
		絵画	0	
		工芸品	1	
		書跡・典籍	0	
無形文化財	古文書・歴史資料・考古資料	0	1	
	音楽	0		
	演劇	1		
	工芸技術	0		
	その他の無形文化財	0		
民俗文化財	有形の民俗文化財	信仰の場	2	10
		祭具	0	
		民具	0	
		その他の有形の民俗文化財	0	
	無形の民俗文化財	年中行事・民俗芸能	2	
		民俗技術	0	
		食文化	1	
		民間説話・俗信	5	
		その他の無形の民俗文化財	0	
		散布地・集落跡・生産遺跡	1	
記念物	遺跡	古墳・その他の墓	0	5
		城館跡・寺社跡	1	
		街道・古道等	0	
		戦争遺跡	0	
		その他の遺跡	0	
	名勝地	山岳・高原・丘陵	0	
		海岸・海浜・島嶼	0	
		河川・滝・溪谷・湖沼	1	
	動物・植物・地質鉱物	公園・庭園	0	
		その他の名勝地	0	
動物・植物・地質鉱物	動物	0	2	
	植物	1		
地質鉱物	地質鉱物	1	1	
	文化的景観	生活・生業・風土により形成された景観地		1
伝統的建造物群	宿場町・城下町・農漁村等	0	0	



吹上神社



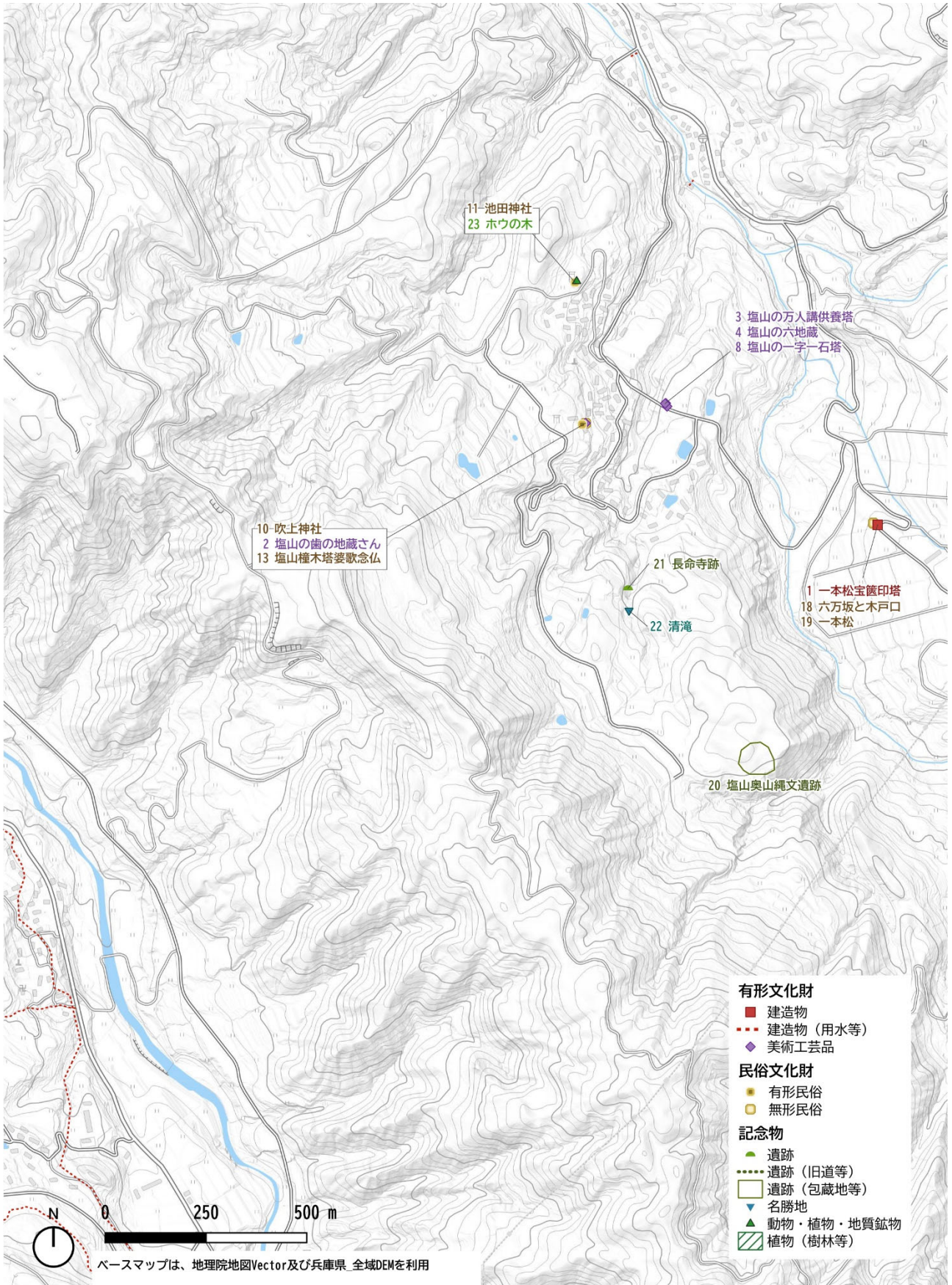
塩山撞木塔婆婆歌念仏



出雲岩

※人口・世帯数は住民基本台帳(令和5年4月現在)による。

文化財の分布



※所在地の掲載可能なものに限る

## 5-06 塩山

### 文化財の一覧

#### ■ 有形文化財／建造物

分類	番号	名称	概要
石造物	1	一本松宝篋印塔	中辻と塩山の村境の通称「一本松」の眺望の良い場所に立つ。道路工事の際に数m位置を動かしている。相輪がなく、代わりに五輪塔の空輪をのせている。地藏や五輪塔とともに安置されている。

#### ■ 有形文化財／美術工芸品

分類	番号	名称	概要
彫刻	2	塩山の歯の地藏さん	55×60cmの石像。吹上神社・観音堂の境内に祀られている。台座もほとんど無傷で形が整っている。建立時期は不明。
	3	塩山の万人講供養塔	60×55cmの石像。村のはずれの道路脇にたつ。頭部は地震で倒れた時に欠損している。前田橋の建設のために現在地（塩山大橋のたもと）に移転したものである。寛政4年（1792）建立。
	4	塩山の六地藏	40×60cmの石像6体。村はずれの道路脇にたつ。前田橋の建設のために現在地（塩山大橋のたもと）に移転されたものである。損傷はない。
	5	塩山観音堂の観音さん	50×25cmの木像（観音像）。観音堂の中に祀られている。堂内には弘法大師坐像、如来坐像、如来立像、地藏菩薩坐像、菩薩立像（観音像）が祀られている。
	6	塩山観音堂の地藏さん	45×15cmの木像（地藏像）。観音堂の中に祀られている。堂内には弘法大師坐像、如来坐像、如来立像、地藏菩薩坐像、菩薩立像（観音像）が祀られている。
	7	塩山薬師さんの木像	50×30cmの木像。薬師堂の中に祀っている。本村とは別に信仰されている。堂内には3体の像（地藏菩薩坐像、如来坐像、如来立像）があるが、観音像は新しい。
工芸品	8	塩山の一字一石塔	140×55cmの石碑。碑銘は正面に「法華一字一石塔」、側面に「文政戊年梅月佛日」。塩山大橋のたもとに位置する。

#### ■ 無形文化財

分類	番号	名称	概要
演劇	9	塩山の村芝居	8月14日に公民館広場で行われる。約30年間途絶えていたものを平成13年（2001）から復活。かつては、5月の農作業の慰安をかねて若人が村芝居をして氏神様にこもり、次の夜から念仏通夜で念仏を唱えていた（旧暦5月23日の巖山のこもりから7月25日の観音じまいまで）。

#### ■ 民俗文化財／有形の民俗文化財

分類	番号	名称	概要
信仰の場	10	吹上神社	祭神は伊弉諾命、伊弉冉命。創立年月は不明であるが、元禄12年（1699）に社殿を再建している。明治6年（1873）10月に村社に列せられる。境内社には、稲荷社（保食命）、岩山神社別宮がある。
	11	池田神社	近代社格は無格社。創立年月は不詳で、貞観年間（859～877）に社殿を改造したといわれる。現在の社殿の建築年代は不詳。祭神は軻遇槌神、句々廻馳命、金山彦神。境内には岩山神社別宮がある。

## ■ 民俗文化財／無形の民俗文化財

分類	番号	名称	概要
年中行事・民俗芸能	12	巖山権現（祭り）	飯野と塩山では8月24日に地藏盆の祭りが行われ、但馬では珍しい伝統的な神仏習合の形式を今に伝える。巖山地蔵大権現の祭りであり、宮は巖山神社で山の中腹に祀られている。祭りは前日に宮司がこもり堂で一夜明かすことから始まり、朝は子供会樽御輿の巡行で山伏と御輿が各戸を巡る。昼から護摩供養、湯立て、呼び物の奉納相撲と続く。10歳までの子どもに赤いハチマキと腹当てをつけ、力士に抱き上げてもらいシコを踏むと丈夫に育つという習わしがある。夜は盆踊りで祭りを締めくくっていたが、近年は盆踊りを実施していない。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">町指定文化財</span>
年中行事・民俗芸能	13	塩山撞木塔婆歌念仏	仏教行事の一つの「六斎念仏」に属するもの。起源は、確固たる史料も文献も無いが、民俗念仏として徳川時代に行われていたと考えられる。行事は、現在は8月7日から8月25日まで行われるが、昔は旧暦5月23日の巖山のこもりから7月25日の観音じまいまで連続して行われていた。こもり行事には五穀豊穡を祈り、5月の農作業の慰安を兼ねて若人が村芝居をし神様にこもり、次の夜からは念仏通夜で念仏を唱えた。観音じまい行事には塔姿が建てられ（7寸角、5m60cm）、堂に安置した観音の前で曲り木で作った撞木で念仏鐘をたたき、御詠歌、光明真言、光明文念仏、結願文念仏を一連のものとし、観音堂、撞木塔婆前、観音堂と順に行って終了する。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">町指定文化財</span>
食文化	14	ジャブ	鶏肉、糸こんにゃく、ごぼう、にんじん、玉ねぎ、豆腐などを鍋で煮た郷土料理。昔は祭りや祝いごとの際は必ず作っていた。
民間説話・俗信	15	あづきごしごし	※『但馬・温泉町の民話と伝説』（昭和59年、喜尚晃子編纂、手鞠文庫発行）p115参照
	16	大地変の話	※『村のおいたち 丹土史』（昭和63年、丹土区編集・発行）p108参照 ※『照来考』（宮脇崇一原著・宮脇直一編集）参照
	17	空を飛んだ馬 （出雲岩・くらかけ岩）	※『温泉町郷土読本』（昭和42年、温泉町教育研修所調査部編集）p238参照 ※『但馬・温泉町の民話と伝説』（昭和59年、喜尚晃子編纂、手鞠文庫発行）p74参照
	18	六万坂と木戸口	※『温泉町郷土読本』（昭和42年、温泉町教育研修所調査部編集）p238参照 ※『但馬・温泉町の民話と伝説』（昭和59年、喜尚晃子編纂、手鞠文庫発行）p47参照
	19	一本松	※『但馬・温泉町の民話と伝説』（昭和59年、喜尚晃子編纂、手鞠文庫発行）p52参照

## ■ 記念物／遺跡

分類	番号	名称	概要
散布地・集落跡・生産遺跡等	20	塩山奥山縄文遺跡	縄文時代の散布地。縄文時代の石器・土器を採取していたが、圃場整備で消滅した。
城館跡・寺社跡	21	長命寺跡	前田川上流の清滝の下にあったとされる。塩山撞木塔婆歌念仏に「十三番地塩山村長命寺」と出てくる。建立時期は不明であるが、念仏で唱えられていたことから、江戸時代には建てられていたと考えられる。

## ■ 記念物／名勝地

分類	番号	名称	概要
河川・滝・溪谷・湖沼	22	清滝	前田川上流にある小さな滝。ここに長命寺があったとされる。

## 5-06 塩山

### ■ 記念物／動物・植物・地質鉱物

分類	番号	名称	概要
植物	23	池田神社のホウの木	池田神社境内にある。
地質鉱物	24	照来盆地	「照来米」「但馬牛」「照来清水」など、地質、地形、水質などの恩恵を受け、歴史、食などが豊富に存在する。

### ■ 文化的景観

分類	番号	名称	概要
生活・生業・ 風土により 形成された 景観地	25	照来盆地の棚田	地すべり地の緩斜面を利用して拓かれた棚田。

### 自治会の区域における歴史文化・文化財の記録作成等の取組

・『塩山の歴史と風俗－時代を生きる－』（令和4年、塩山区編集・発行）

